

写真 7.17 バコイ川～キタ (1)



ラテライト道路が整備されている

写真 7.18 バコイ川～キタ (2)



キタの町風景、電気、電話などあり

写真 7.19 バコイ川～キタ (3)



キタ市内道路の状況

写真 7.20 バコイ川～キタ (4)



同左

7-2 関連道路の現況

7-2-1 南回廊キタ～カティ間

キタからカティまでの約 162km はドイツの無償資金協力 (KfW) により既にラテライト道路整備が完了しており、道路幅員 10 m(車道幅員 7m、路肩が 1.5m)、道路範囲 (Right of Way)40m が確保されている。

また、この区間は、KfW と EU(FED) の無償資金協力により、簡易アスファルト工事が着工されるところである。

写真 7.21 キタ～カティ(1)



10m 幅員のラテライト道路が整備されている

写真 7.22 キタ～カティ(2)



橋梁部手前，橋面はモルタル仕上げであった

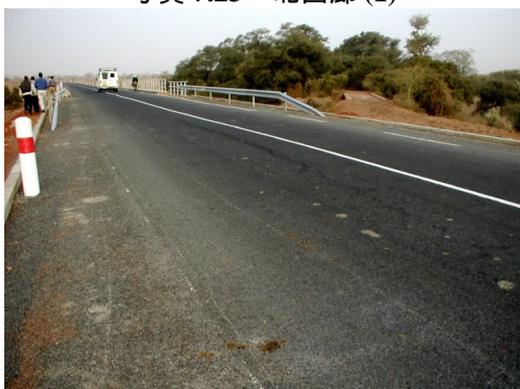
7-2-2 北回廊キディラ～カイ～サンダーレ～ディエマ～バマコ間

北回廊キディラ～バマコ間は、2002年度からEUの無償資金協力(FED)によって整備中であり、既にその6割以上は舗装工事まで終えている。未舗装区間は、キディラ～カイ間、ディエマ～ディディエニ間であり、キディラ～カイ間は舗装工事中(2005年完成予定)、ディエマ～ディディエニ間は今年度(2004年度)舗装工事着工の予定である。キディラ～バマコ間全線が完成するのは2006年度の見込みである。

基本的に全線に渡って簡易アスファルト舗装が計画されており、道路幅員10m(車道7m、路肩2×1.5m)、設計速度80km/hの幾何構造をもつ。建設時の道路範囲は幅40mである。

走行調査の結果、未舗装区間を除いては、時速80km/hの走行も可能であった。平均速度は60km/h～80km/hである。バマコからキディラ(約700km)までは、約280kmの未舗装区間があるため、10.5～11時間所要する。

写真 7.23 北回廊(1)



北回廊舗装整備状況(サンダーレ～カイ中間地点)

写真 7.24 北回廊(2)



北回廊未舗装区間(ディディエニ)

写真 7.25 北回廊 (3)



北回廊舗装工事基地

写真 7.26 北回廊 (4)



ディストリビュータ

7-2-3 ケニエバ～カイ間

ケニエバから州都カイを結ぶ州道 1 号線で、延長約 240km である。

道路は幅員 7m 程度の切り崩しとラテライトによる埋戻しによる道路であるが、局所的に原地盤が露出していたり、幅員が 4～5m 程度の区間が存在する。道路維持補修は行われているものの不十分であり、凹凸が多く路面状態は悪い。

中間ほどに大規模な金鉱採掘現場がある。

走行可能速度は 20～30km/h 程度であり、カイ～ケニエバ間の所要時間は約 7 時間である。ケニエバからカイへの日帰りは難しい。

写真 7.27 ケニエバ～カイ (1)



幅員は 7m 程度である

写真 7.28 ケニエバ～カイ (2)



定期的に維持修繕は行われている

7-2-4 ケニエバ～マナンタリ～タンバガ～キタ間

調査団はDNRからの勧めもありキタからタンバガ、マナンタリを經由してケニエバに至るルートでの踏査を行った。タンバガ～マナンタリ間の約105km区間では、約50km/hの走行速度を確保できるものの、マナンタリダム付近では高低差の大きい急斜面を「つづらおり」で越えるため、重量車の通行には問題がある(写真7.30)。

マナンタリからケニエバへ至る約220km区間は、岩石の露出した凹凸に激しいバフィン川やその他の川底、急峻な山岳地帯を越えるルートで4輪駆動車でも走行が困難な区間が多く存在する。

なお、キタからカイまでは、タンバガ、マナンタリ、バフラベを經由するルートがあるが、ヒアリングの結果では、カイ～バフラベ間(175km)の道路状態が非常に悪く、10時間以上所要する。この区間の平均走行速度は20km/h程度である。

バフラベにおいてはセネガル川を渡河するのに、フェリーを利用する(所要時間40分)。

写真7.29 マナンタリ～タンバガ(1)



幅員は7m～10m程度である

写真7.30 マナンタリ～タンバガ(2)



マナンタリダム近傍は狭く険しい、大型車にとってはより危険である